

日本の子どもたちの水に関する活動の発表

(※は第3回世界子ども水フォーラムでの発表者)

●テーマ1：

Developing more activities

(活動を発展させるために)

グループ：※門口光司、※坂本裕基、三上絵理華、岩橋祐太

- ・日本は水がきれいで豊富にあると思われているが様々な水問題を抱えている。それに対し学校や地域等を主体に、子ども達は水に関する様々な活動を行っている。
- ・日本では、世界子ども水フォーラムの国内大会を毎年開催し、お互いの活動の紹介や情報交換を行い、それぞれの地域での活動を更に高め合っている。

●テーマ2：

Seeing is Believing ~learn about nature through hands on experiences~

(百聞は一見にしかず~体験から自然を学ぶ~)

グループ：※仲野美穂、※曾根裕子、高木駿、山崎愛柚香

- ・近年、日本の子ども達はあまり川で遊ばなくなり、そのため川のありがたみが薄れつつある。しかし体験活動を行うことで、本だけでは学ぶことのできない様々なことを、体で感じ、学ぶことができる。
- ・体験活動を行うことで、水の大切さや川の現状などの水事情を知ることができ、より川を身近に感じ、川での活動の意識が芽生えてくる。また、実際に体験をすることで、自分自身の自然に対する理解が深まり、分かりやすく自然の大切さを人に伝えることができるようになる。

●テーマ3：

Change People's Thinking~It begins with children~

(意識改革~広がれ、子どもの輪~)

グループ：※荒川桃子、※吉野智美、曾根裕子

- ・川は楽しい場所でもあり、時には災害をもたらす恐ろしい存在である。しかし、最近では、川や水に興味を持っている子どもたちが少なくなり、様々な問題が起こっている。
- ・私たちはいざというときに備えた防災活動や、水を大切にすることへの啓蒙活動、仲間作りを行っている。
- ・大切なのは子どもから子どもへ気付かせること。楽しく活動をすること。そうすれば人々の意識が変わるはずだ。

